

地域問題特論Ⅷ

担当者 西嶋 淳

開講時期 後期 単 位 1

「土地利用にかかわる都市政策の課題と展望」

●講義の概要

本講義は、都市特有の土地利用状況によって生じる外部性とその調整手段としての都市計画・建築規制制度に注目します。最近の歴史的建造物などの都市資源を活用する観光振興策や集約型都市構造への誘導策を題材とし、市民生活への影響や利害の対立などに関して解説します。その上で、公共経済学的方法論を導入し、都市政策のPDCAサイクルにおける「受益と負担の公平」の考慮・反映のあり方について探究するための能力の習得を目指します。

●講義の到達目標

都市特有の土地利用問題と、その調整手段としての都市計画・建築規制制度の概要が理解できるようになる。経済活性化策や都市機能の集積を図る施策が安心・安全など市民生活の重要な要素の懸念材料になりうる構造について説明できるようになる。これらを通して、都市政策がもたらしうる受益と負担を適正に評価するための視点と経済政策において重視すべき公正性に関する知識を習得することを目標とします。

●講義計画

- 第1回：都市政策の概念
- 第2回：都市における土地利用と外部性
- 第3回：調整手段としての都市計画・建築規制制度
- 第4回：防災性能向上と歴史的建造物等の保存・活用
- 第5回：観光振興と市民生活の向上
- 第6回：集約型都市構造への再編と利害の対立
- 第7回：都市政策における受益と負担の公平
- 第8回：土地利用にかかわる都市政策のあり方

●成績評価基準と方法

①評価方法

以下の事項、割合により評価します。

- ・講義内容に対する考察を深め、その理解度を受講生自身が確認できるように複数回（2回を予定）、課した発表への取り組み状況や討論への参加状況〔50%〕
- ・受講による成果全般について目標達成度を評価するために課した期末の課題レポートの内容〔50%〕

②評価基準

- ・都市特有の土地利用問題とその調整手段としての都市計画・建築規制制度の概要を理解しているか。
- ・経済活性化策などが市民生活の重要な要素の懸念材料になりうる構造について説明できるか。
- ・受益と負担を適正に評価するための視点と公正性に関する知識を習得しているか。

●テキスト又は参考文献

適宜、指示します。

●受講上の留意点

講義では積極的に意見を発表し討論に参加して下さい。